

平成28年(2016年)10月11日 火曜日

# 北東アジア政策懇話会 第9回研究フォーラム 9/9

NPO北東アジア輸送回廊ネットワーク「NEANET」と(一財)みなと総合研究財団「みなと総研は、港区・虎ノ門のみならず総研3F会議室で、9月9日(金)午後4時から、北東アジア政策懇話会・第9回北東アジア研究フォーラムを開催した。



三橋NEANET副会長

講演に先立ち主催者の、三橋郁雄NEANET副会長が「ユーラシアの輸送回廊を形成するうえで、北東アジアの隣に位置する中央アジアとりわけカザフスタン、ウズベキスタンは重要な要素です。今後、北東アジアへの影響も想定される」と述べ、我々とし



根本みなと総研理事

ても注目していく必要がある」と述べた。続いて根本康主みなと総研理事が「中央アジアは、従来、どちらかといえば馴染みの薄い地域であるが、事情を聴くと、その重要性が理解されます。将来に向けて、よく勉強する必要があります」と、あいさつをした。



浅海講師

さらに同会の東山茂NEANET理事が、講師を紹介した。講演となり、浅海茂(シール・エンタプライズ代表取締役)が、「中央アジアの国際物流とビジネス環境―カザフスタン、ウズベキスタンを中心にして―」と題し

て、話した。日本と中央アジアの間には位置する中国が「二帯一路構想」に基づきユーラシア大陸に跨る大経済圏を築こうとしている。そんな中、ビジネス環境が大きく変わり始めようとしている中央アジア地域での今後の経済交流の可能性を、様々な課題を提起しながら探った。

講演者略歴 1943年生まれ(千葉県出身)。66年明治学院大学文学部英文学科卒。2003年日本通運定年退職後、国際物流コンサルティング会社「シール・エンタプライズ」を設立。現在は主に日本と海外の小企業の物流顧問、中央アジア最大のフレートフォワードであるグローバルリンク社(本社「カザフスタン・アルマトイ」)の日本コンサルタント、国土交通省の外部団体「海外運輸協力協会」のアドバイザーなどを務める。

「ト」と問題点(混載サービスの必要性等)さらに、今後の課題について講演した。引き続き意見交換となり、ユーラシア経済連合関税同盟)、AIEIB等周辺国際関係が中央アジア経済・物流に及ぼす影響、中央アジアと北東アジア物流との具体的関係、中央アジアにおける物流実務上の課題、今後の発展性に関して、どのようであるかという質問など活発な質疑応答が行われ終了した。